

## 令和元年度第2回労働教育協議会会議録

- 1 開催日時 令和2年2月20日 午後1時30分から午後3時00分
- 2 開催場所 浜松市役所 802会議室
- 3 出席状況  
委員（9人）  
森 豊之（もり とよゆき）委員                      櫻井 伸夫（さくらい のぶお）委員  
松本 安史（まつもと やすふみ）委員              石田 博久（いしだ ひろひさ）委員  
塩澤 悟（しおざわ さとる）委員                  鎌田 裕子（かまた ゆうこ）委員  
垣本 映（かきもと あきら）委員                  天野 利之（あまの としゆき）委員  
白柳 弘幸（しらやなぎ ひろゆき）委員  
事務局（3人）  
清野訓子雇用・労政担当課長、田中言彦主幹、山下佑美子副主幹  
欠席委員（1人）  
和田 久（わだ ひさし）委員
- 4 傍聴者 なし
- 5 議事内容 (1) 令和2年度年度労働・雇用に関する事業について  
(2) 雇用対策協定にかかる令和2年度事業計画について  
(3) 意見交換
- 6 会議録作成者 産業総務課労政企画グループ 田中言彦
- 7 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 有・無
- 8 会議記録

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 開会（清野雇用・労政担当課長）</li><li>2 委員長挨拶（石田委員長）</li><li>3 議事<br/>（石田委員長）<br/>(1) 令和元年度労働・雇用に関する事業について<br/>（田中主幹）<br/>資料に基づき説明。</li></ol> |
|---|

(石田委員長)

説明について質問等はあるか。

(委員)

特になし。

(石田委員長)

(2) 雇用対策協定にかかる令和2年度事業計画について

(山下副主幹)

資料に基づき説明。

(石田委員長)

説明について質問等はあるか。

(委員)

特になし。

(石田委員長)

(3) 意見交換 ①採用に関する状況や課題等について

(石田委員長)

応募の数を確保することが難しい。特に首都圏のUターン希望者が少なく感じるので、エリアを絞ってUIJターン就職を促進することは大切だと思う。

(櫻井委員)

応募者の数や質を確保することが難しくなっている。様々な取り組みと連携していくことも必要。

(松本委員)

中小企業では、理系の学生採用が難しくなっている。募集条件変更の必要性を感じている。

(塩澤委員)

希望どおりの採用が難しい。遠方の親の介護による退職も多く、離職を防ぐことにも難しさを感じている。

(鎌田委員)

学校との連携や離職防止、再雇用制度など、様々な視点から人材を確保することが必要と考えている。

(天野委員)

景気が良いと離職率が高くなり、景気が悪いと離職率は低くなる傾向にある。昨今は就職し易い状況にあり悩ましい。

(塩澤委員)

昨今は、比較的労せず転職できる環境が整っている。

(天野委員)

転職を希望すれば情報が簡単に入手できる時代であり、雇用の流動化は悪いわけではない。致し方ないと感じる。

(石田委員長)

再雇用の取り組み例を教示願いたい。

(鎌田委員)

年齢による退職に限らず離職者等へ、離職後も希望に応じて社内報を送付しているほか、福利厚生充実や査定制度の見直しなどが再雇用につながっている。

(垣本委員)

大手志向の学生は多い。今後、通年採用になった場合にどのように就職活動していくか悩ましい。

(石田委員)

大学生のインターンシップも早期化しているように感じている

(垣本委員)

1 Day インターンシップも多くの企業で実施されている。

#### 【意見交換】②働き方改革への取り組みや課題等について

(石田委員長)

法的に守るべき事項を優先し取り組んでいる。

(櫻井委員)

負担を減らすことで誰かにその負担を強いるのでは、改革に繋がっていかないと感じる。

(白柳委員)

有給休暇5日間の義務化の理解がまだ進んでいない中小企業もある。有給への理解が無いこともある。小規模の企業では、その人(技術)がいなければ仕事が進まない等の課題もあり、苦勞している企業もある。

(石田委員長)

オリンピックも間近に控えテレワーク等の動きはあるか。

(鎌田委員)

ハード面での環境整備は整ってきた部分はあるが、実施はしていない。

(白柳委員)

情報漏洩等、解決しなければならない課題は多い。

(塩澤委員)

ハード面で一部環境整備が進んでいるが、実施していない。首都圏のメーカーでは部分的に取り組んでいると聞いている。自宅でテレワークを行った場合に勤務管理や光熱水費、電話代など細かなことまでルールを決める必要がある。

(松本委員)

勤務管理に難しさを感じている。

(石田委員長)

女性のテレワークの希望が多いように感じる。成果指標やそのプロセス、勤務管理など課題は多い。IT系の企業は比較的取り組みやすいように感じる。製造業などのテレワークの取り組み事例などがあれば参考になる。

(白柳委員)

製造業などでも人事関係の部署であれば実現できる可能性はあるように思う。

#### 【意見交換】③外国人労働者の採用状況や課題等について

(森副委員長)

外国人の採用については派遣会社を通じて行っている。課題としては言葉の壁を感じている。翻訳アプリを活用しているが、表示物などの整備が必要である。最近ベトナムの方が増えているがベトナム語の対処が進んでいない。

(櫻井委員)

外国人の子供が日本の学校を卒業し、地域で就職する流れをつくることが大切と感じている。

(松本委員)

浜松の工場ではないが、ベトナムの技能実習生が活躍している。言語については翻訳機器を使っている。

(塩澤委員)

言葉の課題もあるが、食事や習慣など生活全般への配慮が必要となる。

(鎌田委員)

E P Aでの受け入れをしている。国家試験の合格率は日本人と変わらず定着率も高い。日本人と差別なく受け入れることも必要なことである。

(天野委員)

相談される方は、定住者や永住者で特定技能の在留資格者は見かけない。

(鎌田委員)

E P Aを通じて資格取得できなかった外国人が特定技能での就労を希望せず母国に帰っている。

(垣本委員)

高校と連携して日本語学習を行い、雇用している企業もある。

(鎌田委員)

資格取得や就学資金等これまで保証人の課題があったが、複数の法人による保証が可能となるよう働きかけている。

(石田委員長)

委員からの意見は出尽くしたが、事務局から補足・追加の説明はあるか。

(清野雇用・労政担当課長)

貴重なご意見をいただき感謝するとともに、今後における事業の参考にさせていただきます。

(石田委員長)

意見が出尽くしたようなので、議事を終了とする。

4 閉会 (清野雇用・労政担当課長)